

## やさしいことばをつかおうね

## 1 学習対象

小学校 1 年生～3 年生

## 2 ねらい

SNSに書き込まれた内容を実際に声に出してみることで、人を傷つけてしまう言葉の内容に気づき、相手の気持ちを考えて言葉を発することの大切さに気づく。SNSに書き込みをする前に、相手の気持ちを想像し、人を傷つけてしまうことのないようにする。また、他の人にもさせないようにすることや、見て見ぬふりをしない気持ちを育成する。

## 3 準備するもの

○ワークシート

## 4 解説

インターネットを使用した誹謗中傷（ネットいじめ）は、書き込みが簡単なことから、よく考えずにひどいことを書き込んでしまう傾向がみられます。また、匿名で書き込みをする際には、さらにひどさがエスカレートする恐れがあります。書き込む前に相手の気持ちを想像し、言葉で人を傷つけてしまうことのないように考えられることが大切です。

## 5 進め方（展開例） 45 分

時間	学習の流れ（活動・内容）	留意事項	資料など
導入 10分	<p>◆学習の確認（3分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業の流れや留意点の説明を聞く。</li> </ul> <p>◆アイスブレイキング（7分）</p> <p>「ありがとう。どういたしまして。」</p> <p>①グループになって、相手の良いところやがんばっていることを1つ伝える。</p> <p>②伝えられた方は「ありがとう」という。</p> <p>③伝えた方は「どういたしまして」と答える。</p> <p>④くりかえす</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の流れを簡単に説明する。</li> <li>P4【学習の約束】を伝える。</li> <li>3～4人のグループで行う。</li> <li>①が思いつかなければ「相手にしてもらってうれしかったこと」でもよい。</li> <li>やさしいことばを使うことでおたがいの気持ちに近づくことに気づき、温かい気持ちになれることを理解させる。</li> </ul>	
	<p>・やさしいことばを使うことで、温かい気持ちになることに気づく。</p>		

<p>展開 30分</p>	<p>◆アクティビティ（30分）</p> <p>①ワークシートのSNSの書き込みを読む。</p> <p>②ワークシートの書き込み声に出して読んでみる。</p> <p>③どんな気持ちになったかワークシートに書く。</p> <p>④書いたことを発表し、全体で共有する。</p> <p>⑤Aさんがこれを読んだらどんな気持ちになるかワークシートに書く。</p> <p>⑥Aさんのことを考えたら、自分はどうすればよかったのかを考える。</p> <p>⑦このようなやり取りでは、どうしたらよいのか考えてワークシートに書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートを配付する。</li> <li>書き込みを黙読するよう促す。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートに記入できていなくても、発言を引き出し、板書などで全体共有をする。</li> <li>「足の遅い子に遅いと正直に言うことは大切だ」という発言に対しては、相手の気持ちになって考えられるよう促す。</li> <li>自分のこととして考えるよう促す。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>SNSの書き込みに限らず、相手の気持ちになって考えることが大切であることに気づくよう促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> </ul>
<p>まとめ 5分</p>	<p>◆まとめ（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まとめの話を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業をとおして児童から出された考えや記述をもとに、ねらいをおさえ、まとめる。</li> </ul>	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>SNSを通じてグループみんなが話しているからといって、人が傷つくようなことは言ってはいけない。</li> <li>書き込みをする前に、誰かを傷つけたりしない、優しい言葉になっているか確認する。</li> <li>もしこんなやり取りを見たときには、大人に相談するなどして、見て見ぬふりをしない。</li> </ul> </div>

## やさしいことばをつかおうね

( ) ねん ( ) くみ なまえ\_\_\_\_\_

今日の<sup>きょう</sup>体育<sup>たいいく</sup>の時間<sup>じかん</sup>にリレー<sup>れんしゅう</sup>の練習<sup>れんしゅう</sup>をしました。がんばって走<sup>はし</sup>ったけれど、負<sup>ま</sup>けてしまいました。同じ<sup>おな</sup>チームのAさんは走<sup>はし</sup>るのがおそかったので、Aさんのせいで負<sup>ま</sup>けたとおもって、わたしは「負<sup>ま</sup>けたのはAさんのせいだよね。」とかきこみました。

わたし

今日の<sup>きょう</sup>リレーで負<sup>ま</sup>けたのはAさんのせいだよね



□□さん



足<sup>あし</sup>のおそい人<sup>ひと</sup>がいると負<sup>ま</sup>けちゃうよね

〇〇さん



足<sup>あし</sup>のおそい人<sup>ひと</sup>がいるとめいわくだよね

わたし

のろまだね。足<sup>あし</sup>、おそすぎ!



○<sup>こえ</sup>だ<sup>だ</sup>に出してよんでみて、あなたは、どんな<sup>き</sup>気持ちになりましたか。

Empty rounded rectangular box for writing.

○Aさんがこれを<sup>よ</sup>んだらどんな<sup>き</sup>気持ちになるでしょう。

Empty rounded rectangular box for writing.



○Aさんのことを<sup>かんが</sup>えたら、「わたし」は、どうすればよかったので  
しょう。

Empty rounded rectangular box for writing.

○このようなやりとりでは、どうしたらよいのでしょうか。

Empty rounded rectangular box for writing.

